

「鎖国」下の四つの窓口

今日の問い

「鎖国」の下で、日本はどこを窓口に外国や周りの地域と交わったのだろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 長崎と対馬では、だれと交わったか。

長崎(オランダ・中国)、対馬(朝鮮)

幕府が直接治めた ¹ _____ ではオランダ・中国と貿易し、オランダ商館長は海外のできごとをまとめた ² _____ を幕府に出した。 ³ _____ の宗氏の仲立ちで朝鮮との国交が回復し、将軍の代がわりなどには ⁴ _____ が江戸を訪れた。

2 薩摩と松前では、だれと交わったか。

薩摩(琉球)、松前(アイヌの人々)

⁵ _____ は1609年に ⁶ _____ を支配下に置き、琉球は将軍の代がわりなどに ⁷ _____ を江戸に送った。蝦夷地では ⁸ _____ がアイヌの人々との交易を独占し、1669年、不利な交易に対して ⁹ _____ が起こった。

年表 — この単元のできごと

1609

薩摩藩が琉球王国を支配下に置く

1669

シャクシャインの戦いが起こる

まとめ

今日の問いに答えよう。「朝鮮通信使」「琉球王国」の2語を使って、2文で書きなさい。

☐ 四つの窓口と相手を言える☐ 朝鮮・琉球との関係がわかる☐ アイヌの人々との交易がわかる

できた

/ 9

